

# 荒川（下流域）流域治水協議会 議事概要

日時：令和2年9月24日（木） 10時30分～11時55分

会場：羽越河川国道事務所大石ダム会議所 2F 会議室

## 【規約の承認】

事務局提案の「荒川（下流域）流域治水協議会規約（案）」について異議はなく、案のとおりで承認された。

## 【主な質問・意見】

- ・ “流域のあらゆる関係者により行う” とあるが、住民参加が見えない。住民の迅速な避難を後押しするマイ・タイムラインの作成等を明確にすべき。また、作成に対する支援も必要。
- ・ 目的が異なっていることは理解しているが、農地の排水機能向上ため、農地排水ポンプだけでなく、河川のポンプ利用も有効ではないか。
- ・ 規約案にある学識経験者に意見を求めるとあり、必要に応じて中央の学識経験者に意見をもらうべき。
- ・ プログラムには上流域部分についても反映されるのか。  
最終的には、水系を1つにして、とりまとめて公表する。

## 【意見交換】

- （村上地域振興局地域整備部長）河川改修事業の予定はないが、河道内樹木の伐採や河床掘削などの維持管理を適切に実施したい。また、ソフト対策についても強化を図りたい。
- （村上地域振興局農林振興部長）荒川流域では全国に先立って平成14年から田んぼダムの活用がされている。多面的機能支払交付金を活用して雨水貯留機能の強化を図ってきたい。
- （新発田地域振興局地域整備部長）事業中の乙大日川改修を推進していくとともに河道内樹木の伐採や河床掘削などの維持管理を適切に実施したい。また、危機管理水位計も1機整備しており、ソフト対策も引き続き実施していく。
- （村上市長）地区毎の流域対策が全体安全度向上へ繋がっていく。河川流量の低減効果は少ないが最下流域でも流域対策は重要である。  
住民の避難行動を後押しする対策の推進を望む。  
排水能力向上のために消防団が保有している消防用ポンプの活用も考えていきたいので、支援をお願いする。
- （関川村長）（本川からの洪水流の逆流を防ぐため）洪水時に支川の水門を閉鎖することにより、支川の氾濫が発生する。排水ポンプ車の増強など支川の氾濫対策の強化をお願いする。  
荒川頭首工であるが、事前放流をして水位を下げるような運用はできないのか。河川水位の低下には有効であると考えます。
- （荒川水力 関川事業所長）岩船ダムの事前放流に引き続き協力していく。また、岩船ダムの水位、放流量などの情報網の整備をR3年度末までに図っていききたい。
- （赤芝水力 赤芝発電所長）赤芝ダムの事前放流に引き続き協力していきたい。

(東北電力 新潟発電技術センター所長) 他のダムと同様に鷹の巣ダムの事前放流に引き続き協力していきたい。事前放流は洪水前の河川水位が低い状態で実施するためにダム下流の釣り人など河川利用者に十分配慮して実施していく。また、過去の洪水をシミュレートした訓練も行っている。

(羽越河川国道事務所長) 今回公表するものはあくまで”中間とりまとめ”である。本日いただいた意見を最終とりまとめへ反映していきたい。

流域治水の推進には、あらゆる関係者の協力が不可欠であり、荒川水系流域治水プロジェクトの策定に引き続き協力をお願いする。各種情報は、幹事を通じて提供をしていく。

- 以 上 -